



理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの全面発達を保障する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす



正月さま 正月さま
正月さま 正月さま
ど「まで」だった？
ころころ山の下まで「だった
おみやげなんじゃ？
ね「に」にしん
こね「こ」にかつお
おじ「じ」にいんど
つ「つ」さ「に」たば「
かあ「か」かに「し」やも「じ
こ「こ」ども「に」らく「が」ん
も「た」さ「に」や「き」かん
言「い」って「み」よう「わ」ら「べ」う「た
し「し」の「こ」は
著

新年明けましておめでとうございます。

あひる組のこども達に、「明けましておめでとう」と挨拶したら、HAさんが「あけましておねがいします」と言葉が返ってきました。その場にいた大人は大笑いです。

幼児クラスのこども達にお休みの間、何が楽しかったのか聞いてみたところ、「大阪のエキスポシティに行った。観覧車に乗った、映画、妖怪ウォッチが一番楽しかった。」「カラオケに行った。おおばば、パパ、ママといっただけ楽しかった。」「じいじ、ばあばのうちにいった、スケートもして楽しかった」「深大寺に6人で行った。鬼太郎の店に入ってパパの職場の人にお土産を買った、わたあめを買ってばあばの家で食べた、あんこの餅も食べた。」「東西線のこと。地下に入った、地下好きだから。家族で行った。」そして、その子はらくがき帳に一本線を引いて、覚えての字で各駅の名前を書いていました。

その他、連絡ノートには餅つき、凧揚げ、山登り、スキー、カルタ、お年玉で買い物をしたなど、家族や親せきと過ごした生活体験が記載されていました。

子どもたちは経験を通して、そのことを表現したり、友だちや大人と会話する中で、豊かな遊びへと広がっていきます。お休みの間の経験が遊びの中で再現する姿が見られることでしょう。楽しみにしています。

今年も職員一同、よろしくお願い致します。

園長 岡本 友子

1月の予定

1月	12日(木)	健康診断	体験保育
	13日(金)	5歳児のみ	プラネタリウム
	19日(木)	身体測定	
	25日(水)	幼児	冬あそび
	26日(木)	健康診断	



お知らせ

- * 冬あそび・・・昨年は「冬まつり」として荒馬座の獅子舞を見ましたが、今年は、昔からある冬によくする遊びをおしえてもらって、ふだんのあそびの幅を広げたいということで「あそびの出前」をお願いしました。来て下さるのは、「あそびの学校」の菅原道彦さんに来ていただくことにしました。
- * ミニコンサートが終わり、職員でいろいろと反省点を出し合いました。会場の問題、乳児の参加のしかた、時間帯の問題などなど。子どもたちにとって何が必要なのか・・・。今一度よく考えて来年の計画にいかしていきたいと思います。
- * みたか小鳥の森保育園に分園ができます・・・みたか小鳥の森保育園は0～2才児までの乳児保育園です。毎年、3才児になる時に幼児のある保育園に転園していくので、長年就学前までの保育園ができた方がいいのにと願っていました。せたがや小鳥の森が開園しても、自治体が違うために転園は叶いませんでした。昨年、公立保育園の跡地活用と3歳児の待機児童受け入れ先ということで、分園ができることになり、就学前までの保育が可能となりました。2018年4月に開園です。